

2018年1月吉日

投資家の効果的な資産運用・形成のために大事なポイントとは？

～金融庁、日本証券業協会の講師の方々との意見交換会～

研究 I 部・投資入門部合同

金融行政の施策によって既存のNISA、iDeCoに加え、2018年からは新たに積立NISAも加わり、個人投資家にとって資産運用・形成のための多様な税制メリットが享受できるようになってきました。「貯蓄から投資」への流れの中で、個人投資家がこのような税制メリットや「長期・積立・分散投資」のメリットを理解し、安心して資産運用・形成を行っていくためには金融リテラシーの向上が不可欠です。そういった意味でもライフプラン、資産形成の考え方や金融商品の種類・仕組みなど幅広い金融・経済教育は今後、大事になってくることでしょう。さらに長期的で効果的な資産運用・形成につなげるためにはファンダメンタルズ分析やテクニカル分析など、投資・運用のための分析手法を理解し、実践面でどのように活用していくのかをしっかりと把握することも大切になってくると考えられます。

今回のセミナーでは、そのような視点を多角的・多面的に盛り込み、金融庁、日本証券業協会、テクニカルアナリスト協会の講師3人が金融行政の取り組みと積立NISAの仕組み・メリット、金融リテラシー向上のための金融・経済教育の現状、ファンダメンタルズ分析とテクニカル分析の効果的な活用方法などについてわかりやすく解説します。その後、金融庁、日本証券業協会、テクニカルアナリスト協会の講師のメンバーと会場の皆様が気軽に直接、双方向で意見交換をし、理解を深める場を提供致します。金融庁、日本証券業協会の講師の方々との率直な意見交換の場としてご活用ください。

<対象者>

- ◇ 自らの資産運用・形成として、金融リテラシーを高めたいと考えている方
- ◇ 積み立てNISAの仕組みや長期・積立・分散投資のメリットを知りたいと考えている方
- ◇ 金融リテラシー向上のための金融・経済教育の具体的な取り組み事例（大学など）を知りたいと考えている方
- ◇ 金融行政の取り組み、今後の方向性について理解したいと考えている方
- ◇ 投資手法としてのファンダメンタルズ分析とテクニカル分析を積立NISAにおいてどのように活用するのかを知りたい方
- ◇ お金、ライフプラン、金融・投資教育についての話ができるネットワークを構築したいと考えている方
- ◇ 金融庁、日本証券業協会の講師の方々との率直な意見交換をしたいと考えている方

記

講師： 本田 幸一氏（金融庁）
飯島 一夫氏（日本証券業協会）
中村 貴司氏（日本テクニカルアナリスト協会）

日時： 1月26日（金）18:30～20:00

場所： 日本テクニカルアナリスト協会 事務局セミナー室（兜町平和ビル4階）

会費： 会員及び通信受講生は無料、非会員は 3,000円

講師紹介

本田 幸一 氏（金融庁）

大学院卒業後、金融庁に入庁。
金融検査・監督、法令作成等に携わり、現在は金融経済教育・投資教育を担当している。

飯島 一夫 氏（日本証券業協会）

日本証券業協会 金融・証券教育支援本部 普及促進部専任主事で
金融広報委員会金融広報アドバイザーを務める。

中村 貴司 氏（日本テクニカルアナリスト協会）

日系・外資系証券会社、証券系・損保系運用会社を経て、
現在、証券系調査・研究機関でストラテジストを務める。

※会員向けセミナー動画配信はありませんので是非ご参加下さい